

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 421

事務事業名	都市再構築戦略事業(西大村地区)	
基本目標	050101	機能的で環境と調和したまち
政策		コンパクトで暮らしやすいまちづくり
施策		計画的な土地利用と都市拠点機能の充実
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	都市計画課		
課長名	桑原 盛雄	内線	430
担当者名	川口 勇太郎	内線	431

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計		
款	8	土木費	
項	5	都市計画費	
目	1	都市計画総務費	
事業コード	130100	都市再構築戦略事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	西大村地区都市再生整備計画区域		
意図	都市再生整備計画(西大村地区)に基づき、中心拠点施設の市立大村市民病院の建て替えを核として、周辺のアクセス道路の改修を行うことにより、歩いて暮らせる歩行空間の確保を図る。		
事業概要	◎道路整備 歩道のバリアフリー化や路側のカラー化など、安全・安心な歩行空間の創出を図る。 ◎地域生活基盤施設(情報案内板)整備 各バス停付近や交差点に案内板を設置し、歩いて暮らせる環境整備を行う。また、災害時の避場所等を表示し、市民への日常的な周知を図る。		
事業期間	平成 26 年度	～	平成 31 年度
実施方法	補助		

成果指標名	歩行空間の整備率				算定式等	整備延長(km)／計画延長(km)×100(%)
着手前現状値	平成 25 年度	単位	%	0		
完了後計画値	平成 31 年度			100		

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額				20,000			20,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
用地・補償	実績・計画額							
	項目別進捗率							
建設工事	実績・計画額				80,000	140,000	86,000	260,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	30.77%	84.62%	117.69%	117.69%
事務費等	実績・計画額				1,200	5,000	4,300	10,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	12.00%	62.00%	105.00%	105.00%
合計	実績・計画額	0	0	0	101,200	145,000	90,300	290,000
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.00%	34.90%	84.90%	116.03%	116.03%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	0	101,200	145,000	33,800	0	280,000
国庫支出金			0	50,000	70,000	20,000		140,000
県支出金								
地方債			0	45,900	67,500	12,600		126,000
その他								
一般財源			0	5,300	7,500	1,200		14,000
② 人件費(千円)	0	0	1,882	3,395	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)			0.23	0.43	市道歩道改良工事	市道歩道改良工事		
時間外勤務(時間)			130	134	情報案内板設置工事	情報案内板設置工事		
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	1,882	104,595				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	安心・安全な歩行空間の確保に向け、整備方針について検討した。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	歩道のバリアフリー化において、クスノギが幅員確保の支障となることから、関係機関との調整が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	都市機能誘導区域における中心拠点施設として整備する市立市民病院は、利用者の増加が見込まれることから、周辺道路のバリアフリー化により、交通弱者に優しい歩行空間を確保する必要がある。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	中心拠点施設となる市民病院の整備に合わせ、早急に周辺道路の改修を行い、子どもからお年寄りまで安全・安心な歩行空間を確保する必要がある。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	都市再構築戦略事業は当該区域で今後5ヵ年間に実施すべき事業を定めた「都市再生整備計画」の国土交通大臣の承認を得ており、5ヵ年間の社会資本整備総合交付金(都市再構築戦略事業:補助率50%)の交付事業として実施できる。						
負担割合	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市立市民病院の整備に合わせ、歩いて暮らせる歩行空間の確保も早急を実施する。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	市立市民病院を核とした、市民に愛される魅力溢れる西大村地区の構築を図る。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。